議会だより わどまり



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、和泊町公式サイト町議会のページにリンクします。

CONTENTS

こんなことが決まりました　……2P
11名の議員が町政を問う　……3P
提言書提出・現地調査……13P
決算認定・監査委員意見書より…14P
人事案件・活動報告……15P
子ども議会……16P
編集後記……20P

■令和８年　第２回　臨時会(７月１日)

議案等番号	件名	一議員名（議席番号順）												議事結果
	【表の見方】 報；報告　承；承認　諮；諮問　議；議案　陳；陳情　発；発議 ◎；全会一致　◇；賛成　◆；反対　ー；表決権なし　欠；欠席	市来 武次	川間 哲志	中村むつ子	山口明日香	島田 浩樹	松村 絹江	池田 正一	東 弘明	中田 隆洋	桂 弘一	喜井 和夫	永野 利則	
議 65	物品購入契約の締結について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決

■令和８年　第３回　定例会(９月８日～15日)

議案等番号	件名	一議員名（議席番号順）												議事結果
	【表の見方】 報；報告　承；承認　諮；諮問　議；議案　陳；陳情　発；発議 ◎；全会一致　◇；賛成　◆；反対　ー；表決権なし　欠；欠席	市来 武次	川間 哲志	中村むつ子	山口明日香	島田 浩樹	松村 絹江	池田 正一	東 弘明	中田 隆洋	桂 弘一	喜井 和夫	永野 利則	
選任１号	和泊町議会常任委員会委員の選任ついて	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決
選任２号	和泊町議会運営委員会委員の選任について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決
報４	放棄した私債権の報告について	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	
報５	財政健全化判断比率について	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	
報６	資金不足比率について	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	
承９	専決処分の承認を求めることについて（令和８年度和泊町一般会計補正予算第２号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	承認
承 10	専決処分の承認を求めることについて（令和８年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算第１号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	承認
議 66	和泊町税条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 67	和泊町国民健康保険税減免条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 68	和泊町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 69	和泊町辺地に係る総合整備計画の変更について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決
議 70	和泊町監査委員の選任について	無記名投票　賛成 10　反対１											ー	同意
議 71	令和８年度和泊町一般会計補正予算（第３号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 72	令和８年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 73	令和８年度和泊町介護保険特別会計補正予算（第１号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 74	令和８年度和泊町下水道事業会計補正予算（第１号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 75	令和８年度和泊町水道事業会計補正予算（第１号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 76	令和７年度和泊町一般会計歳入歳出決算認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	認定
議 77	令和７年度和泊町奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	認定
議 78	令和７年度和泊町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	認定
議 79	令和７年度和泊町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	認定
議 80	令和７年度和泊町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	認定
議 81	令和７年度和泊町下水道事業会計剰余金の処分の議決及び決算認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決認定
議 82	令和７年度和泊町水道事業会計剰余金の処分の議決及び決算認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決認定
発５	脱炭素先行地域事業の見直しを求める提言書に関する決議	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決
	議員派遣について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決
	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決
	各常任委員会の閉会中の継続調査申出書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決
	議員定数等調査特別委員会の閉会中の継続調査申出書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可決

※永野利則議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成･反対の意思表示）権はありません。

補装具を島内で支える体制を



山口　明日香 議員

補装具の島内支援体制

問 **現状と今後の対応は。**

答 障害者の補装具は、身体の欠損や身体機能の障害を補完・代替し、日常生活や社会生活を送る上で必要となる車椅子や補聴器、義足などが対象となっており、切れ目のない支援が重要となる。

支給にあたっては、医師意見書・処方箋や補装具の見積書が必要となっており、医療機関及び、補装具業者と調整し、早期支給に努めている。

しかし、今年3月から補装具業者が諸般の事情により来島が困難となり、障害のある方は、専門的な判定や補装具の製作・調整、修理等において、島外への移動や業者との調整が必要となることから、本人やご家族にとって、時間的・身体的・経済的な負担が生じることは課題の一つであると認識している。

課題に対し、医療機関に補装具業者との契約を要望しているが、医療機関は契約の相手方確保に向けた調整に苦慮している状況。今後も「障害のある人が、住み慣れた地域で必要なサービスを受けられるまち」の実現に向け、島内で補装具を必要とする方が、必要な時に適切な支給が行えるよう、課題も含めて医療機関、補装具事業者、鹿児島県身体障害者更生相談所など関係機関との連携をより一層図り、障害福祉の向上に努めていく。



ココが聞きたい 一般質問 町政を問う!!

令和8年第3回 議会定例会

・山口　明日香 議員
補装具を島内で支える体制を…… P3

・島田　浩樹 議員
町民福祉向上になる政策を…… P4

・池田　正一 議員
農業・学校・子どもたちの未来へ …… P5

・東　弘明 議員
財政健全化に向けた公共・公営のありかた…… P6

・桂　弘一 議員
評価高まる和泊の中世遺跡群‼…… P7

・市来　武次 議員
町民が変化を実感できるまちへ…… P8

・川間　哲志 議員
切れ目ないサービス情報格差をうめる…… P9

・松村　絹江 議員
想定内の重要な町の課題…… P10

・中村　むつ子 議員
町民が知って選択できる情報提供を…… P11

・喜井　和夫 議員
守ろう！島の農業…… P12

・中田　隆洋 議員
未来を見据えた財政運営へ…… P12

一般質問とは？？

議員が町の行財政全般について、事務・予算等の執行状況や、今後の考え・方針を聞き、疑問点を質すこと。



町民福祉向上になる政策を



島田（しまだ）　浩樹（ひろき）　議員

町民運動広場の活用

問　**今後の整備、活用方法は。**

答　町民スポーツ大会をはじめ、スポーツ少年団や部活動、スポーツ協会競技連盟など、多くの皆様にご利用いただいており、本町にとって大変重要な施設であると認識している。これまでも、芝生の管理や防球ネットの設置、排水対策などを行い、施設の有効活用に努めている。

しかしながら、この度の立て続けの台風により、防球ネットの倒壊や、夜間照明の落下、大木の倒木といった被害が発生し、利用者の皆様には大変なご不便をおかけしている状況。

この大切な施設を後世へ残していくため、今後も計画的な整備・更新を進めながら、大切に活用していく。

併せて、スポーツ少年団や、スポーツ協会、学校の部活動など関係団体と緊密に連携し、町民の皆様に必要とされ、多くの方々が集う場所づくりに努めていく。



▲宇検村陸上競技場

脱炭素先行地域事業

問　**今後の取り組みは。**

答　脱炭素先行地域事業のうち、ＰＰＡ方式による設備導入事業については、事業者である株式会社えらぶゆり電力が破産手続き開始決定に至ったことから、現在、事業が休止している状況。

本町では、知名町とも連携し、後継事業者の確保や今後の事業の在り方について、複数の事業者と協議を重ねているが、現時点では持続可能な事業体制の確立には至っていない。この点については、事業に課題が生じているものと認識している。

一方、導入済みの太陽光発電設備等については、現在、破産管財人の管理下にあり、その取扱いについて協議が続いている。

また、交付金の取扱いや、今後必要となる手続についても環境省と協議中であり、現時点で町の負担額や最終的な事業の取扱いが確定したものではない。

【脱炭素先行地域事業に関する現状】

1．脱炭素先行地域事業の進捗状況

令和４年４月 26 日に脱炭素先行地域に知名町の共同提案者として選定され、PPA 事業による公共施設への太陽光発電設備の設置に取り組んでいましたが、本町と PPA 契約を締結している株式会社えらぶゆり電力の資金繰りの悪化により、令和７年度事業が中断し、令和８年度事業も PPA 事業者の破産により事業を休止中。

2．PPA 事業者の破産

株式会社えらぶゆり電力は事業再開に向けて資金調達を行っておりましたが、資金繰りの改善が図られず、令和８年２月 27 日に東京地裁に破産申し立てを行い、令和８年３月２日に破産手続き開始決定。

農業・学校・子どもたちの未来へ



池田（いけだ）　正一（しょういち）　議員

農家支援

問　**農薬、肥料、飼料等の価格高騰が続いているが、どのような対策を講じているか。**

答　７月時点において農薬・肥料・飼料等の価格が上昇しており、依然として厳しい状況にあることと認識している。

こうした状況の中、町独自の取組として例を挙げると、昨年度に続き、沖永良部農業開発組合が出荷する「牛ふん堆肥購入費」への助成を実施しており、購入に対する直接の助成と併せて、地力向上による生産者所得の向上を図ることとしている。

また、畜産業においても、運転資金を借り入れる畜産農家に対する利子補給や、暑熱対策等に重要な資材導入への助成、受精卵費用への助成等を行うこととしており、畜産農家の経営安定化を支援していく。

併せて、さとうきび関連のスミチオン等の農薬についても、20％の助成を行っており、さとうきび生産者の経営安定化を支援している。町としては、今後の農林水産業に関する価格高騰の動向及び国・県の支援策の方向性といった状況を注視し、価格上昇部分に対する支援策について検討を行っていくこととしている。

引き続き現在実施している補助事業等を活用しながら、農家の経営安定に必要な対策を講じていく。

学校施設

問　**今後のメンテナンスは。**

答　本町の学校施設については、これまでも施設や設備に不具合等が生じた場合には、学校からの報告を受け、緊急性や安全性等を考慮しながら、必要な修繕や改修を行ってきたところ。

一方で、学校施設の中には、建築から相当年数が経過している施設や設備もあり、今後、老朽化に伴う修繕や更新等の増加が見込まれる。

このことから、単に不具合が発生してから修繕する「事後保全」だけではなく、施設の状況を適切に把握し、計画的な点検・修繕を行う「予防保全」の考え方を取り入れながら、施設の長寿命化と維持管理に努めていく必要があると考える。

特に、屋根や外壁、電気設備、給排水設備、空調設備などについては、児童・生徒の安全や学校運営に直接関わることから、日常的な点検や定期的な点検を行い、不具合の早期発見・早期対応につなげていくことが重要である。

また、修繕等を行う際には、緊急性や安全性、施設の劣化状況、修繕費用等を総合的に勘案し、優先順位を定めながら計画的に実施していく。

今後も、児童・生徒が安全で快適に学ぶことのできる教育環境の維持・向上を図っていく。



財政健全化に向けた公共・公営のありかた



東（ひがし）　弘明（ひろあき）議員

公共下水道

問　人口減少を踏まえた公共下水道事業の将来の見通しは。

答　令和７年度に人口動態に基づき事業計画のフレームを見直し、事業期間の延伸を行ったところ。

計画の中で行政人口は、令和６年の５，８８８人から、事業計画目標年次である令和13年には５，５００人へと減少すると推計されている。

和泊処理区、農業集落排水区域の統合を行った中部処理区の計画処理人口は減少するものの、新たに北部処理区の接続を検討しており、全体の計画処理人口は、事業計画目標年（令和13年）では既に計画の３，０７０人から３，２５０人へと増加する見込み。

農業集落排水事業においては、令和７年度に維持管理適正化計画を策定し、その中で、計画処理人口は当初の２，８９０人から令和14年には２，０７０人へと減少する見込み。

問　公共下水道施設の更新費用は。

答　和泊浄化センターの水処理施設の更新工事を優先して進めているところ。中継ポンプ場やマンホールポンプ等の更新も予定されており、現計画において対象とした施設全体の更新費用として概算で❶８億２千４００万円を見込んでいる。

農業集落排水事業においては、施設や設備の機能強化として、和泊一期地区（東部・北部処理区）が完了し、現在は和泊二期地区（城（ぐすく）・仁嶺（じんれい）処理区）の更新工事を実施している。今後、更新費用として、❷３億８千１８０万円を見込んでいる。

問　公共下水道区域の見直しは。

答　公共下水道事業及び農業集落排水事業において区域の見直しは考えていないが、新たに公共下水道和泊浄化センターへ農業集落排水北部処理区の接続を検討している。

問　合併処理浄化槽への転換は。

答　転換は考えていないが、他の自治体において、集落排水処理施設のダウンサイジングへ大型の合併浄化槽を適用した事例や、集合処理から個別処理への転換事例等が示されている。今後の施設更新にあたっては、選択肢の一つとして検討したい。

問　今後の生活排水処理の基本方針は。

答　施設や設備の延命化を図りながら、施設の最適配置や統合、集合処理方式から個別処理方式へ転換等について検討を進め、効率的な下水道事業運営を目指していく。

その他質問

サンサンテレビについて

❶ 和泊町ストックマネジメント計画

計画期間　令和８年度～令和 12 年度
実施箇所　和泊処理区　処理場・中継ポンプ場等
実施内容　負荷設備、自家発電設備等の改築及び更新

❷ 農業集落排水施設整備事業

実施年度　令和３年度～令和 11 年度
（概算額は令和８年度～令和 11 年度）
実施箇所　城（ぐすく）・仁嶺（じんれい）処理区　処理場・中継ポンプ場
実施内容　自家発電設備、中継ポンプ等更新

評価高まる和泊の中世遺跡群!!



桂（かつら）　弘一（ひろかず）　議員

文化財の調査・保護と活用

問　**国指定史跡になった世之主の墓が崩落しているが、修復計画は。**

答　世之主の墓は、令和８年２月17日付で、「沖永良部島古墓群」として国の史跡に指定された。

令和９年度からは、有識者会議等での議論やパブリックコメントなどを実施し、２カ年程度かけて「保存活用計画」を策定する。

保存活用計画策定後は、早ければ令和11年度から２年程度かけて、石積みの修復や周辺整備等についての具体的な中身となる「整備基本計画」の策定を行う計画。

令和13年度からは、「整備基本計画」に基づき、実施設計や石積みの修復、周辺整備等を行っていく計画となっている。

問　**後蘭孫八の城跡の調査目的と計画及び詳細は。**

答　令和７年３月に国の史跡に指定された「与論城跡」の調査報告等の中で、琉球系グスクの北限と指摘され、沖縄のグスクや与論城跡との関連が示された重要な城郭遺跡である。

計画の詳細は、令和８年度から９年度にかけて地形測量調査を行い、令和10年度から12年度にかけて石積み等の測量及び発掘調査を実施、そして令和13年度に整理作業及び報告書作成を予定している。

問　**世之主の城跡の現状と在り方について、どのように捉えているか。**

答　町指定史跡「世之主の城跡」は、主となる中心部については、遺跡が良好に残されていると考えているが、こんにちまでの周辺部での耕地整備や道路建設等により、遺跡の一部が改変されている。また、近年は風雨や地下の水の流れ等の影響により、斜面の崩落が発生している。

教育委員会としては、「後蘭孫八の城跡」と同じ時代の、当時の沖永良部島の状況を解明するための情報を残す、重要な城郭遺跡と認識している。

このような状況を鑑み、教育委員会では、令和３年度に国庫補助事業を活用して地形測量調査を実施し、主郭、いわゆる中心部と想定される範囲の実測図を作成した。

その成果を基に再度、現地確認や過去の航空写真等により、世之主の城跡の縄張りや外郭構造について検討した。その結果、地形測量を実施した範囲よりも外側に、世之主の城跡の範囲とみられる地形の残存を把握した。現在、残存部の地形測量調査に向け、検討を行っている。



世之主の墓崩落箇所



世之主城跡崩落箇所

町民が変化を実感できるまちへ



市来（いちき）　武次（むつぐ）議員

町民生活の向上と地域課題の解決に向けた施策

問 **加齢性難聴等の方へ補聴器購入費用補助制度を。**

答 高齢者等実態調査の分析や他自治体の動向を踏まえ、制度創設について検討していく。

問 **集合墓地における現状の管理体制と課題は。**

答 各字の区長が墓地管理者として、管理している。課題としては、墓地台帳等の更新が不十分な箇所があり、墓地使用者の把握が難しい状況となっている。

問 **所有者不明残地物等の対策と今後の管理は。**

答 土地の所有者や使用者が適正に管理・処分することになっており、第一義的な処理の責任もそれぞれにある。所有物か不法投棄か判然としない物を町として処分できないため、看板を設置し、廃棄物の遺棄について注意喚起している。

問 **消防団員の年額報酬、区長の業務委託料の増額を。**

答 消防団員、区長ともに本町の持続可能な発展のために極めて重要な存在であり、その責任や負担に見合った処遇とすることは、今後の地域社会を維持していく上でも不可欠な要素である。提言を受け止め、両者の処遇が適切であるか、他自治体の状況も調査しつつ検討していく。

重点新規事業

問 **執行率を上げるための取り組みと令和９年度の事業選定方針は。**

答 「重点新規事業枠」は、町民のニーズに基づき、若手職員の柔軟な発想で生み出された施策を町政に反映させることを目的に設置している。執行率を上げる取り組みとして、町民のニーズを正確に捉え、事業設計を行うことが重要であると考える。

令和９年度の事業選定についても、特定の方向性を定めるのではなく、柔軟な発想から生まれる事業効果を期待して選定していきたい。



政策的投資を行うための基金の創設

問 **人口減少対策、将来の地域社会を支える施策を継続的に実施するための財源として、決算剰余金等を活用した基金の創設を。**

答 地域社会を支える幅広い施策の財源として、使途を限定しない「財政調整基金」があり、健全な財政運営維持のための貴重な財源として設置している。

また、特定目的基金は16あり、そのうちの１つである「ゆりのふるさと基金」についても使途を広く定めており、各種施策において比較的柔軟に対応できる財源である。

新たな基金の設置については、既存基金との関連性も評価したうえで、既存基金と併用も含めて検討していく。

切れ目ないサービス　情報格差をうめる



川間（かわま）　哲志（てつし）議員

高齢者や障がい者が安心して住める社会

問　**福祉分野における資格取得に係る費用に補助することは出来ないか。**

答　高齢者や障がい者を含む全ての人が孤立せず支え合う地域共生社会の実現には、福祉を支える人材の確保と育成が重要であると認識している。

町では令和８年度から、介護分野における実務者研修等の資格取得支援を開始。福祉現場は、介護に限らず、障がい福祉、児童福祉など幅広い分野で担い手不足が懸念されているため、今後は町内事業所や関係機関のニーズ、財源、国県制度や既存施策との整合などを検証し、対象資格や支援内容の拡充を検討していく。



和泊町公式
ホームページ

和泊町公式
LINE

問　**行事カレンダー、LINEなどの情報発信を行っているが、高齢者や障がい者の方がもっと分かりやすい情報発信は。**

答　高齢者や障がい者の皆様が安心して生活できるよう、情報発信の充実は極めて重要な課題であると認識している。特に、近年多発する自然災害時においては、迅速かつ的確な情報伝達が皆様の命と安全を守る上で不可欠である。

これまで、広報誌、サンサンテレビ、町ホームページ、公式ＬＩＮＥ、防災メール、防災無線といった多様な手段を活用し、行事情報や防災情報などを発信している。

しかしながら、高齢者や障がいを持つ方々にとって、これらの情報が、十分に分かりやすく、かつ確実に届いているかという点については、さらなる改善の余地があるものと考えている。

今後は、情報格差の解消に向け、スマートフォン教室等の開催を通じて、高齢者や障がいを持つ方々が、デジタル技術に親しみ、情報を受け取りやすい環境づくりを進めていく。

その上で、文字の大きさや配色、平易な言葉遣いの徹底、音声読み上げ機能の活用など、情報伝達を誰もが使いやすい設計で進め、デジタル技術を活用した住民に優しい環境の実現に取り組んでいく。

デジタル媒体のみならず、広報誌等のアナログ手段とも効果的に組み合わせ、誰一人取り残さない、きめ細やかな情報提供体制の構築に努めていく。

想定内の重要な町の課題



松村（まつむら）　絹江（きぬえ）議員

お墓の継承者問題

問 **墓じまい、永代供養の重要性をどのように考えているか。**

答 お墓の継承者問題については、少子高齢化、核家族化、都市部への人口集中とも相まって、継承者が既に不在であったり、島外に住んでいるなどして、とても深刻な課題であると認識している。

町としても、墓じまいや永代供養は、住民の皆様が抱えるお墓に関する不安を解消し、次世代への負担を軽減するための重要な選択肢であると考えている。

問 **他自治体の参考に出来る事例はないか。また、取り組む計画は。**

答 お墓の継承者問題について、合葬墓（がっそうぼ）の整備などに取り組む計画はないが、大変重要な課題である。少子高齢化の課題と同様に、関係機関や専門家と連携し、住民の皆様がお墓に関する不安を抱えることなく、安心して供養の方法を選択できるよう、墓じまいや改葬手続に関する情報提供や相談体制の充実、集落共同墓地の管理支援などの取組について検討していく。



請願書の捗状進況

問 **令和３年からこれまでに採択された請願書の進捗状況と周知方法は。**

答 令和３年からの請願の採択件数は、令和３年に１件、令和６年に３件、令和７年に２件の計６件となっている。

「公共施設、笠石海浜公園の改善及びトイレの増設について」は、笠石海浜公園はグラウンドゴルフ大会や各種イベント等で多数の方が利用されている。特に来場者が多数見込まれるジョギング大会時には、仮設トイレを設置し、バースハウスを更衣室として利用することで対応している。

施設の増設は、費用対効果やイベント時と平時の利用等を総合的に評価したうえでの慎重な検討が必要であり、現段階での早急の整備は厳しいと考える。

周知方法については、必要に応じ広報誌や町ホームページ等で周知したいと考える。

令和３年から、教育委員会所管の請願は３件採択されており、「和泊町総合交流施設の建設にかかる経過について」は、総合交流施設はご承知のとおり「建設は中止する」という判断に至っている。今後は、既存の施設を最大限活用しつつ、機能の充実に取り組みたいと考えている。「公共施設の改善及び増設について」は、研修センター多目的広場階段の手すりについては、令和９年度予算での設置に向け努めたい。



町民が知って選択できる情報提供を



中村（なかむら）　むつ子（こ）議員

RSワクチン

問　妊婦に対してのリスクをどの程度認識しているか。

答　本年４月より妊婦に対するＲＳワクチンが定期予防接種となったことに伴い、母子手帳交付時の接種勧奨や医療機関への協力依頼等を行っているところ。ワクチンである以上、副反応がおこりうること、既往歴や妊娠週数等を踏まえた慎重な判断が必要であることをリスクとして認識している。

　このため、接種の有効性と併せ、想定される副反応や接種時における注意事項等について情報提供を行い、最終的には主治医等と相談のうえで判断してもらうよう周知していく。



航空運賃

問　沖永良部・鹿児島間の航空運賃の価格が上がっているが、補助などの対応はとれないか。

答　鹿児島県や奄美群島広域事務組合、群島内市町村と連携を強化し、国に対して、奄美群島振興交付金の十分な予算確保及び割引率の拡充等の更なる負担軽減に向けた要望を継続して行っていく。

問　家族のお悔やみで島に帰ってくる際の運賃補助は出来ないか。

答　家族のご不幸などにより、島外に住むご家族やご親族が急遽帰省しなければならない場合、直前の航空運賃が高額になることがある。

　現在、本町においては、お悔やみに特化した個別・直接的な運賃補助制度は実施していないが、奄美群島振興交付金により、準住民の対象拡大について、実務上の課題等が整理されているところであり、今後も協議が継続される予定となっている。

補助金の対処の仕方

問　財政援助団体に対する行政の対処の仕方は。

答　補助金交付にあたっては、当該事業が本町の行政目的や施策の達成に必要かつ有効であるかを検証し、事業の公益性や町民ニーズへの合致、他の事業との公平性などを総合的に検討し、その上で交付の可否や金額を決定している。

　また地方自治法第199条に基づき、財政援助団体の監査を実施し、補助金等の出納、その他事務の執行が適正かつ効率的に行われているかをチェックしている。今後も補助金の必要性と事業効果を定期的に検証し、見直すべきものは見直しながら透明で適正な補助金の執行に努めていく。

守ろう！島の農業



喜井（きい）　和夫（かずお）　議員

本町の輸送野菜

問　**米国産生鮮馬鈴薯の輸入解禁に向けた動きがあるが、本町の輸送野菜の動向は。**

答　輸入解禁に向けた国の動きについての報道は確認しており、また農林水産省の公式ＳＮＳにて、２０２０年に米国からの輸入解禁要請を受け、現在もなお検疫協議を行っているところである旨を公表されていることから、米国との間で協議中であるものと承知している。

問　**輸入解禁が実現した場合、農家所得への影響は。また影響額の想定は。**

答　輸入解禁が実現した場合、安価な米国産の馬鈴薯が市場に流入することが危惧されるが、仮定の話なので具体的な額までは示すことができないが、価格競争などの結果、生産者の所得に大きな影響を与える可能性があるものと考える。

問　**町の農業を守る立場から、県や国に対して意見を上げる考えは。**

答　馬鈴薯は本町の主要作物であり、生産者の生活を脅かす可能性のある輸入解禁には反対の姿勢でおり、県内の他産地の自治体と連携をしながら、今後国に対しては、陳情を行うべく調整を進めている。



未来を見据えた財政運営へ



中田（なかだ）　隆洋（たかひろ）　議員

財政運営と予算執行の検証

問　**中期財政計画の評価と主要財政指標計画と実績は。**

答　中期財政計画の目標設定と比較し、実質公債費比率は目標16・0％以下に対して15・5％、将来負担比率が目標50％未満に対して0・8％、経常収支比率が目標89・8％に対して90・3％、基金残高が目標35億円以上に対して約33億円、起債残高70億円未満に対して約73億円となった。

　各数値は5年後の目標として定められ、いずれも前年度比で改善傾向にあり、財政運営の方向性は概ね良好であると考える。

問　**予算執行率と費用対効果の検証、翌年度の予算編成への反映は。**

答　各事業を評価する仕組みとして、振り返りシートを作成し、目的の妥当性、手段の有効性、事業の効率性を各担当による自己評価で行っている。振り返りシートは「主要施策の成果」の草案となっているが、改善の余地がある。事務事業評価の手法、時期については今後検討していく。

　行政運営の効率化において費用対効果の検証は、欠かせないプロセスであり、正しい効果検証と、次年度の予算編成に反映させる仕組みづくりを行う。

脱炭素先行地域事業の見直しを求める提言書に関する決議

本町は、ゼロカーボンシティ宣言を令和４年１月７日に行い、脱炭素先行地域提案書を令和４年２月21日提出し、同年４月26日に脱炭素先行地域として認定されました。

両町で売電事業を計画していましたが、認定後に九州電力送配電事業者と協議を行った結果、離島ユニバーサル制度があるため事業変更が必要となり、自家消費型ＰＰＡ事業に変更を余儀なくされました。



えらぶゆり電力（ＰＰＡ事業者）の資金繰り悪化に伴い令和７年５月からＰＰＡ工事の中止、その後えらぶゆり電力（ＰＰＡ事業者）が破産し、それに伴い令和７年度、令和８年度の２年間事業を実施していません。また、引き継ぐ業者を模索中でありますが、機器設備導入や事業のハードルが高く先行きが不透明であります。

脱炭素先行地域事業の今後の取り組みとして継続的・総合的な対応が求められています。

以上の事を踏まえ、議会の意見として、提言書を提出しました。

事業経過をしっかりチェック！

９月14日(月)決算審査特別委員会の現地調査にて、各委員会が選定した事業箇所の現状確認をおこなった。



町営住宅手々知名団地改修工事

工事内容
屋上防水・外壁改修、施設維持改修・外構改修
補助事業
公営住宅ストック総合改善事業



笠石海浜公園遊具更新工事

工事内容
小型複合遊具一式更新・ターザンロープ撤去
補助事業
令和７年度社会資本整備総合交付金事業



大城小学校バリアフリー改修工事

工事内容
校舎棟のスロープ設置・屋内運動場棟のスロープ設置
補助事業
学校施設環境改善交付金事業



城ケ丘中学校バリアフリー改修工事

工事内容
校舎棟のスロープ設置・屋内運動場棟のスロープ設置、トイレ建築工事
補助事業
学校施設環境改善交付金事業

≪令和７年度各会計の決算額と採決の結果≫

区　　分		歳入決算	歳出決算	差　　引	採決結果
一般会計		76 億 9027 万円	74 億 7045 万円	2 億 1982 万円	全会一致で認定
特別会計	奨学資金	1642 万円	450 万円	1192 万円	全会一致で認定
	国民健康保険	10 億 9730 万円	10 億 5570 万円	4160 万円	全会一致で認定
	介護保険	9 億 4932 万円	9 億 283 万円	4649 万円	全会一致で認定
	後期高齢者医療	1 億 1839 万円	1 億 1059 万円	780 万円	全会一致で認定
水道事業（収益的部分）		2 億 146 万円	2 億 83 万円	63 万円	全会一致で認定
下水道事業（収益的部分）		4 億 2470 万円	4 億 1103 万円	1367 万円	全会一致で認定
合　　計		104 億 9786 万円	101 億 5593 万円	3 億 4193 万円	すべて認定

※決算額は１万未満を四捨五入で掲載しているため、差引・合計額が一致しない場合があります。

【付帯意見】

・重点新規事業において、効果に基づく事業実施状況を確認するための資料を追加し提出されたい。（事業費、目的、手段、見込まれる成果、事業実施による効果）
・予備費が余剰財源の受け皿とならないように、適正且つ透明性ある財政運営に心がけていただきたい。

監査委員意見書より

財政指標においては、実質公債比率が３年連続で改善して、早期健全化基準を十分に下回っています。しかしながら、県内他市町村との比較においては依然として高い数値にとどまっており、今後の財政運営に対して注視をしていく必要があります。
従来の現金主義会計による財務分析・財政指標の把握にとどまらず、発生主義・複式簿記に基づく資産・負債等の詳細な分析を加えることで、より客観的かつ正確な現状評価と健全化施策の推進につながるものと考えます。

pickup

人事案件

常任委員の選任

総務文教常任委員会

委員長	島　田　浩　樹
副委員長	中　村　むつ子
委員	永　野　利　則
〃	桂　　弘　一
〃	池　田　正　一
〃	松　村　絹　江

経済建設常任委員会

委員長	市　来　武　次
副委員長	山　口　明日香
委員	中　田　隆　洋
〃	東　　弘　明
〃	喜　井　和　夫
〃	川　間　哲　志

議会運営委員の選任

委員長	喜　井　和　夫
副委員長	島　田　浩　樹
委員	池　田　正　一
〃	山　口　明日香
〃	中　村　むつ子
〃	市　来　武　次



活動報告

夏祭りの前夜祭パレードに、議会も参加しました。各委員会でテーマを考え、横断幕を掲げながら商店街を歩きました。議会の活動だけでなく、地域の行事にも参加し、町民の皆さんと交流する大切な機会となりました。





〈お詫びと訂正〉

前号第 172 号の４ページ、中田議員の一般質問の中で、「防災・減災対策について」の数字に誤りがありました。
正しくは“避難ベッド 300 台”となります。お詫びして訂正いたします。

中学生の視点から町政を問う

令和８年度子ども議会が７月31日(金)に開催され、長田議長の進行で９名の中学生議員から質問・意見・要望等が出され、活発な議会となりました。

和泊中学校３年
清水（しみず） 羅衣那（らいな） 議員



子どもたちの挑戦を支え未来を育む町に!
各種検定料の完全免除化を!

Q. 英検や漢検等の各種検定料を完全免除(全額公費助成)する制度を導入できないか。

A. 現状、中学生を対象に検定料の一部を上限 3,000 円まで助成する既存制度が整備されている。
完全免除化ついては、今後の実現に向けた調査や検討を進めていく。

沖永良部島の知名度向上と観光活性化

城ケ丘中学校２年
荒田（あらた） 海牙（かいり） 議員



Q. 沖永良部島をＰＲする航空機の機体ラッピング広告を復活できないか。

A. 広告宣伝費が高額となるため町単独での実施は困難だが、関係機関や航空会社と連携した効果的な方法を模索していく。

Q. 飛行機の座席ポケットに、島の魅力を伝える独自の観光パンフレットを設置できないか。

城ケ丘中学校２年
皆村（みなむら） 樹希（いつき） 議員



A. 機体の重量制限、機内清掃ルール、搭載費用といった民間航空会社側の高いハードルがある。今後は空港ロビー等の立ち寄りやすい場所への効果的設置に向けて協議を継続する。

Q. ポケモンとコラボしたデザインマンホール「ポケふた」を島内に設置できないか。

A. 観光誘致効果は高く認識しているが、現在ポケモン社が新規設置申込の受付を一時停止しているため、受付再開時に前向きな検討ができるよう継続的な情報収集に努める。

和泊中学校３年
基（もとい）　莉緒（りお）議員



空き家をリノベーションした、スポーツ用品および海用品専門店の開設支援

Q. 島内の空き家を改修し、「スポーツ用品・海用品（うみようひん）の専門店」の開設を支援できないか。

A. 店舗の開設には所有者との調整や運営体制の確保が必要だが、店舗改修費の3分の2（上限200万円）を支援する「空き家活用促進事業補助金」などの既存制度が活用可能であるため、今後は事業者との連携も含め多角的な検討を進める。



城ケ丘中学校２年
窪田（くぼた）煌海（あお）議員



安心・安全な町づくり
部活動の移動支援

Q. 夜間の安全対策として、街灯の増設および全町的なＬＥＤ化は推進できないか。

A. 電気代や維持管理費の削減効果を見据え、国の臨時交付金を最大限活用して町内すべての街灯をＬＥＤに切り替えるための具体的な検討を進め、整備を一層加速させる。



城ケ丘中学校２年
撰（えらぶ）　玄葵（はるき）議員



Q. 部活動の移動支援（保護者の送迎負担軽減）を兼ねた、夜間の定期バス運行を導入できないか。

A. 部活動の地域展開が進む中、原則である保護者送迎を踏まえつつ、生徒が安心して打ち込める移動サポート方法を検討する。実現には課題があるが、諦めずに関係機関と連携し、地域全体で子供を支える持続可能な仕組みを前向きに検討する。

和泊中学校３年
平村（ひらむら） 柊磨（とうま） 議員



子どもたちの声を活用した「わ・ど・ま・り」防犯合言葉の定時放送および回覧板での宣伝活動

Q. 独自の「防犯合言葉」の定時放送や、回覧板による啓発活動を実施できないか。

A. 子どもの声による防犯定時放送は、非常に効果的であり今後の参考にする。防犯合言葉の具体案については、学校ごとにアイデアを出し合って町へ提案していただきたい。

沖永良部島の海洋ごみを減らす取り組み

城ケ丘中学校２年
松﨑（まつざき） 葵（あおい） 議員



Q. ゲーム感覚で楽しく参加できる「海洋ごみ拾い大会」を定期開催できないか。

A. イベントの安全管理や集めたごみの搬出体制などの具体的な課題を整理しつつ、既存のスポーツごみ拾い(スポGOMI）との連携を含めて実現可能性を検討していく。

Q. 不用品を回収し安価で提供する「地域リサイクルショップ」を開設できないか。

A. 先進地の取組などを調査・研究し、総合振興計画の「あたらむープロジェクト」等とも連動した環境施策として多角的に検討する。

和泊中学校３年
竹之下（たけのした） 結衣（ゆい） 議員



和泊町の特産物を活かした“大島ビッグイベント大収穫祭＆体験フェスタ”の開催

Q. 島の特産物を活かした大規模イベントを開催できないか。

A. 交流人口増加において、農業や特産物を活かした体験型観光は非常に有効なアプローチと捉えている。魅力を島内外へ一層発信し、観光振興やリピーター獲得に努めていく。

子ども議会のようす



▲ 入り口名札













子ども議会を通して

和泊中学校３年　長田（ながた）　大輝（だいき）議長



私は、この議長という大役をやるうえで、任された時はあまり不安もなく、大役を務めることを楽しみにしていました。ですが、リハーサルで議長席に座った時に突然、不安と緊張が押し寄せてきました。“自分にできるのか？”“大きな失敗をするんじゃないか？”と動揺していました。ですが、関係者の皆様や先生方のサポートによって、なんとか不安や緊張にも負けず、やりきることができ、今は大きな達成感を感じています。

今回、この子ども議会で和泊町、沖永良部をより良くする意見を精一杯発表した議員の皆さん、本当にお疲れ様でした。私たちにとって今日の経験は普段学校では体験することのできないものです。これからの学校生活、地域でもぜひ活かしていきましょう。

また、役場職員の皆様には、私たちの質問、意見にわかりやすく丁寧に答えていただきました。この機会によって普段見ることのできない町の議会運営の仕方を経験し、知ることができました。とても勉強になりました。今回学んだことを活かして、今後の学校、地域生活を送っていきたいと思います。

最後に、この場を設けてくださり、ご尽力くださった関係者の皆様、本当にありがとうございました。



議会を傍聴してみませんか

町の予算や身近な問題について話し合う大切な場で
だれでも自由に見たり、聴いたりできます！



令和８年第４回議会定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
12/6	7	8 本会議初日 一般質問 (9：30 ～)	9 一般質問 (9：30 ～)	10	11 本会議最終日	12

本会議場での傍聴

●本会議の受付所…役場２階の入口
①傍聴者名簿に名前を記入
②一般質問通告書をもらい入場

テレビでの視聴

●一般質問の様子をサンサンテレビで生放送（再放送２回あり）

編集後記

今回から議会広報の編集委員長を務めることになりました。

町民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、分かりやすく、読みやすい「議会だより」を目指していきます。

文責／山口　明日香

【発行責任者】
議長　永野利則

【編集責任者】
委員長　山口明日香
副委員長　中村むつ子
委員　島田浩樹
委員　川間哲志

今号の表紙



未来を担う子どもたちが議場へ！
今号の表紙は、「子ども議会」の様子です。子どもたちが議員役となり、町について考えたことや、日頃感じていること、これからのまちづくりへの提案などを、自分たちの言葉で堂々と発表しました。子どもたちの新鮮な視点や思いが、これからの和泊町の未来につながっていきます。

■発行／令和８年 10 月 26 日　鹿児島県和泊町議会
■編集／議会報編集委員会　〒 891-9192　鹿児島県大島郡和泊町大字和泊 10 番地
TEL 0997-92-2569 FAX 0997-92-3176　ホームページ https:www.town.wadomari.lg.jp/